

頭皮血管肉腫放射線治療に使用する新規ポータス材の治療精度の検討

1. 研究の対象

2017 年 4 月～2028 年 3 月までに大阪国際がんセンターにて頭皮血管肉腫の高精度放射線治療を施行した・これから施行される予定の方

2. 研究の概要

頭皮血管肉腫は、悪性度が高く、早期に遠隔転移を引き起こす難治性の腫瘍であります。頭皮表面の線量を担保するために、質の高いポータスの選定が重要とされています。先行研究において、頭皮血管肉腫の全頭皮照射に対して、ネオプレーンキャップがポータスとして有用であるとの報告がなされている。そこで本研究では、ネオプレーンキャップを用いた治療に対して、治療精度に関する項目の解析を行うことを目的とします。2017 年 4 月から 2028 年 3 月までに大阪国際がんセンターにて放射線治療を実施した頭皮血管肉腫の患者さん 30 名程度を対象とします。放射線治療時の位置照合に使用するコーンビーム CT を解析してセットアップエラーを算出します。さらに治療時に得られるログファイルからコーンビーム CT 上に線量分布を作成し得られた線量体積ヒストグラムを比較します。

研究予定期間：倫理審査委員会承認後 ～ 西暦 2028 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

CT 画像、治療計画情報 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 医療技術部放射線部門 乾翔輝（研究責任者）

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上